

**東京都議会自由民主党 「東京を世界で一番の都市に」するための、
平成 29 年度予算要望 5 つの重点項目**

**1. ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックの成功
へ向けて**

2019 年ラグビーワールドカップ、2020 年オリンピックパラリンピックの成功に向け、東京がリーダーとなって取り組みを加速化させる必要があります。特にオリンピックパラリンピックについては、最小の経費で最大の効果を挙げるよう、IOC、国、組織委員会をはじめ関係機関と緊密に連携し、夢と希望にあふれ、都民・国民が一丸となって取り組むことのできるスポーツと文化の祭典としていただきたいと思ひます。

2. 豊洲新市場移転への取り組み

都民に対する正確な情報が不足しています。豊洲新市場の敷地については土壌汚染対策法上、また建屋については建築基準法上、それぞれ「安全」は担保されていることが明らかになりました。この先は、正確な情報発信で都民の理解をいただき、移転への取り組みを

着実に進めるべきです。まずは移転時期を明確化し、市場業界関係者への補償と支援を確実にを行うことを求めます。

3. 防災都市づくりの推進

首都直下地震や台風等の風水害など、自然災害への備えは不断の努力により万全を期さなければなりません。木密不燃化10年プロジェクト、豪雨対策基本方針等の計画事業を着実に進め、災害に強いまちづくりに積極的に取り組む必要があります。特に木密不燃化10年プロジェクトの特定整備路線28区間の整備は、2020年までに完成との目標を公表しています。東京都の責任において、この事業を完成させることが重要です。緊急輸送道路沿道建築物の耐震化、無電柱化、空き家対策なども、東京の安全・安心には欠かすことのできない政策です。

4. 少子化高齢化対策

少子化高齢化対策は都政において喫緊の課題の一つです。保育園の待機児童対策は、ただ単に施設を増やせばよいものではなく、保育人材の育成と同時に進めることが必要であり、さらに産休・育休・

職場復帰への後押しなど、労働政策との整合性を図る必要もあります。高齢者介護もマンパワーの不足が深刻であり、介護施設の充実と地域包括支援体制の構築、介護予防事業の推進など、総合的に進めることを求めます。

5. 産業と環境に対する取り組み

国が GDP600 兆円を目指す中で、東京都の目標はどうあるべきなのか。付加価値の合計である GDP を約 2 割大きくするためにはどのような方策があるのか、その実現のための実効性ある予算編成を望みます。東京を世界で一番の都市にするには、環境面での充実が不可欠です。誰にとっても「快適」である都市を目指し、品格と美しさ、そして快適な環境を実感できる東京の実現を求めます。

なお、我が党は、前回の都議会選挙で掲げた、「東京を世界で一番の都市に」するための政策実現に向け、政策推進本部を立ち上げ、各局の施策の方向性、各事業の進行管理を行っております。今後も、各局事業の内容や進捗状況をしっかりと検証しながら、必要な政策提言や要望を行ってまいりますので、お受けとめ頂き、その都度、都政に反映していただきたいと思っております。